

病気療養児等外出機会が少ない児童生徒のお祭り体験・交流プロジェクト  
～「秋田竿燈まつり」～企画書

令和6年7月

## 1 趣旨

デジタルで誰一人取り残されない共生社会を目指し、病気療養や障害等により外出機会が少ない状況にある方々に対し、ICT活用による全国のお祭り体験や関係者との交流を通してワクワクするモデル作りを目指す。

今回、秋田竿燈まつりをテーマにした体験・交流イベントを行い、参加者がワクワクドキドキする内容の検証を技術面、コンテンツ面から行う。

## 2 主催者・協力者

### <主催者>

- ・秋田大学学生・教員ボランティア（秋田市手形学園町1-1）
- ・秋田大学竿燈会（秋田市手形学園町1-1）
- ・一般財団法人ニューメディア開発協会（東京都中央区日本橋小舟町3-2）

### <協力者>

- ・秋田市竿燈会（秋田県秋田市大町1丁目3-30）
- ・秋田竿燈まつり実行委員会（秋田県秋田市山王1丁目1-1 秋田市観光文化スポーツ部観光振興課）
- ・秋田大学教育文化学部附属特別支援学校（秋田県秋田市保戸野原の町13-1）
- ・公益財団法人ベネッセこども基金（東京都多摩市落合1-34）
- ・秋田市旭北地区コミュニティセンター（〒010-0921 秋田市大町4丁目4-15）

## 3 内容

- (1) 令和6年7月16日（火） 秋田大学竿燈会による秋田大学附属特別支援学校への指導交流会ライブ配信（10:30-12:00 予定、於；秋田大学教育文化学部附属特別支援学校）
- (2) 令和6年8月4日（日） 秋田大学附属特別支援学校竿燈に密着してのライブ配信・交流（19:00-21:00 予定、於；秋田大学附属特別支援学校及び秋田竿燈まつり会場）
- (3) 令和6年8月5日（月） 秋田竿燈まつりライブ配信・交流（17:00-21:00 予定、於；秋田竿燈まつり会場）

## 4 ライブ配信先

一般財団法人ニューメディア開発協会がこれまで支援してきた全国の特別支援学校26校他

## 5 本イベントのポイント

- (1) 自分の仮身であるアバターロボットを竿燈まつり会場（具体的な設置場所は、実行委員会関係者と調整）に設置し、参加児童生徒が遠隔操作して自分が見たい景色を見ることができるといった没入感を味わえるように工夫する。加えて移動の際にはアクションカメラを使いまつりの臨場感を楽しんでいただく。
- (2) ICTを活用することにより、一方的な映像配信でなく、祭り関係者と交流できるようにする。
- (3) 今回お祭り体験・交流プロジェクトに参加いただく方には、参加前に竿燈まつりの歴史などを事前に理解いただく

## 6 本プロジェクトに関する連絡先

- ・プロジェクトコーディネーター（秋田大学大学院教育学研究科 藤井慶博 秋田市手形学園町 1-1  
Tel 018-889-2596 E-mail [fujii-yoshihiro@ed.akita-u.ac.jp](mailto:fujii-yoshihiro@ed.akita-u.ac.jp))
- ・一般財団法人ニューメディア開発協会（東京都中央区日本橋小舟町 3-2, 担当 林・平出）

メール：[NMDA-SJG@nmda.or.jp](mailto:NMDA-SJG@nmda.or.jp)



電話：03-6892-5032

URL：<https://www2.nmda.or.jp>